



「ひらほくに新聞」で検索!

★感謝で継続11年目に突入★

http://www.hirahoku.com/

☆ぜひ、バックナンバーをどうぞ!

発行所 読売センター平塚北部(ひらほくに) 山本 直 〒254-0013 神奈川県平塚市田村9-4-32 電話 0463-54-2807

夢のかげの あきらめ方



作家・水野敬也さんによるシリーズ累計400万部超えの自己啓発(エンタメ)小説「夢をかなえるゾウ」の第4作目が刊行され、たちまち大反響。これまでの3作で「夢をかなえる」をテーマにしてきたシリーズの最新刊『夢をかなえるゾウ4 ガネーシャと死神』は、何と後半で「夢のあきらめ方」を主題に展開。待ち受ける感動のラスト、超オススメの書籍をご紹介します。

余命3か月と課題

妻子ある会社員の主人公はガネーシャ(第一巻から登場する人間の体にゾウの鼻、4本の腕を持ったインドの神様)と死神から「余命3か月」を告げられ、妻子にお金を残すために残りの時間をどう使うべきかをガネーシャたちが与える「課題」をこなしながら考えていくというストーリー。前半では迫り来る死期を前に、生きているうちにどんなことをしておくべきかという課題に向き合い教えが次々に

本書に登場する「ガネーシャの課題」は、物語の主人公だけでなく、あなたの人生にも役立つ内容になっています。また、課題は、過去の偉人たちが実行してきた習慣であり、あなたが夢をかなえたり成功したりするのを助けるだけでなく、「死ぬときに後悔しない人生を送る」ためのものでもあります。

人間が死に際に後悔する10のこと

- ① 本当やりたかったことをやらなかったこと
- ② 健康を大切にしなかったこと
- ③ 仕事ばかりしていたこと
- ④ 会いたい人に会いに行かなかったこと
- ⑤ 学ぶべきことを学ばなかったこと
- ⑥ 人を許さなかったこと
- ⑦ 人の意見に耳を貸さなかったこと
- ⑧ 人に感謝の言葉を伝えられなかったこと
- ⑨ 死の準備をしておかなかったこと
- ⑩ 生きた証を残さなかったこと

(物語に登場する死神の教え)

◎ガネーシャの教え、21の課題から

■健康に良いことを始める

「健康に気を遣うんは、長生きするためだけじゃやうで。これまでは面倒くさがつてた健康を大事にする習慣を身につけられれば、自分の行動を管理して目標を達成できるようにする。つまり……夢をかなえられるようになるつちゅうことや」

■大きな夢に向かう小さな一歩を、今日踏み出す

「『やる』て決めたその瞬間から、やれることはなんぼでも生まれてくんねん。なんぼ大きくてかないそうにない夢でもな、その夢に近づくためにできることは、今、この瞬間にあるんやで」

■「死ぬまでにやりたいことリスト」を作る

「頭で考えて終わりにするんやのうて、まずは書き出してみることが大事やねん。できへんかもしれんて考え始めると、楽しくなくなつてまうやろ? せやけど、ワクワクしながら気軽に書き出していけば忘れてもつてた願望を思い出せるし、気持ちが高まれば行動に移したるから実現しやすくなるもんやで」

■身近な人に感謝の言葉を伝える

「自分を身近で支えてくれる人に対しては、色々してもらうのが当たり前になつてもうてるやろ? でも、『働く』の語源が『傍を築く』の語源が『傍を築く』にしているように、傍にいる人の苦労が分かる感謝できるようになれば、世の中の人の苦労を減らせるサービスも生み出せるようになるんやで」

■両親の生い立ちを知る

「オバマさんの父親も幼いころに自分の母親と引き離され、同じような苦しみを経験したことが分かったんや。すべてを知ったオバマくんは父親の墓石の前で泣き崩れてな。『自分が人生で感じた痛みは、父が感じた痛みだ』て、父親との深いつながりを感じて癒されたんやで」

■かなえてきた夢を思い出す

「自分は未来に縛られすぎで、これまで夢をかなえてきた自分を忘れてもつてんねん。周り比べて『たいしたことない』つて思てもうたり、かなえた夢に新しい夢を上書きしてもうたりして、なかつたことにしてもつてんねんな」

◎どんな人にもかなえられた夢とかなえられなかった夢がある

「ウォルト・ディズニークンは、ディズニールランドを作つたあと、テーマパークを併設した未来都市——ディズニールランドを作ろうとつた。でも、実現する前にこの世を去つてもうた。ダ・ヴィンチくんは、『モナ・リザ』をいつも持ち歩いて油絵具の薄い層を塗り重ねながら死ぬ直前まで修正しとつたけど、満足のいく形に仕上げられへんかつた」。そして、ガネーシャは言った。「みんな、夢をかなえられへんかつてん。世の中では、偉大な仕事をした人は『夢をかなえた人』て思われてるけど、ほんまはちゃうねんな。どんな偉人にも——偉人にならんかつた人にも——かなえられへんかつた夢と、かなえられへんかつた夢があつたんや」。

自分の人生に後悔しながら死んでいく人は、すでにかなえたたくさんの夢、これまでの幸せな体験を忘れてる。そして現在、夢を「かなえられない」と苦しめ、頑張り過ぎてる人は、夢を手放すということも一つの道である。

◎夢の手放し方、あきらめ方

人を苦しめる「夢」。そこからどうすれば解放され、今の人生、今の苦しい状況を受け入れられるか。夢を手放す!! あきらめる!! 受け入れる。

すべての人の目的は「幸せになること」であり夢をかなえることは一つの手段にすぎない。「夢のかなえ方」と「夢の手放し方」の両方を学び、選べるようになることは、後悔しない人生を送るうえで最大の助けとなるだろう。この両方を学び終えたとき、どちらの道にも進むことができる、本当の意味での「自由な人生」を手に入れられるはずだ。(終)

=====
コロナ禍により、目の前の変わらぬ日常が決して当たり前ではなかつたことに、皆気づかされた。当たり前だと思つてたものを手放したり、あきらめざるを得なくなつた方も多いと思う。そして、まったく予測がつかないこの時代、この状況をいかに受け入れ、生きていくか。まさに大切な学び満載の素晴らしい「生き方の教科書」です。ぜひ多くの人へ。

◎心理カウンセラー

masaさんの動画より

masaさんは、斎藤一人さんや小林正観さんの「考え方」、「捉え方」が自分自身の考え方のベース。今回は、これまで何度かご紹介した故・小林正観先生の教えからです。

お金を

どんどん引き寄せて

しまっ魔法の言葉！



オカルトでも、スピリチュアルでもなく、科学的な方法で「お金があなたの元に戻ってくる方法」をご紹介します。

多くの人が、大好きであり、そして人生の悩み事のひとつでもある、お金というもの。その「お金をどんどん引き寄せてしまっ魔法の言葉がある」と私は正観さんから教わりました。

神戸に何千坪という大邸宅を構えている方がいます。その方は50年間同じことをやり続けてきたそうです。それは特別なことではなく、自分の家に戻ってきた一萬円札や五千円札、千円札に対して、「今度帰ってくるときは、仲間をたくさん連れて帰ってくるんだよ」と言って聞かせているそうです。それを50年間もやっているってことなんです。そして、本当にちゃん

と仲間を連れて帰ってくるそうです。

その方は、本当に親しみと愛情を込めて「いい仲間を連れて帰ってくるんだよ」とお金を会話、言葉を投げかけているそうです。それを50年やり続けて、今では大邸宅に住んでいるってことなんです。

「モノには確かに意識がある」。そういふふうに「温かい言葉」をかけてくれる人と、お金なんか汚いモノだと思っている人と、どっちの人にお金が戻りたいか、それはやはり温かい言葉をかけられたところに帰りたいですよ。

このお話を聞いて、どのように感じるでしょうか？ 嘘くさいなあ、スピリチュアルかあ、なんて思う人もいるでしょう。

でも実は、『モノには魂がある』という事は、科学でも証明されています。アメリカの超名門大学、プリンストン大学において、1979年から20年以上かけて「モノには魂があるのか？」という実験を続けました。その結果、「人間の意識によって、機械の動きが変わる！」ということが分かったのです。

愛情を持つて機械に接すると、そうでない機械よりも長持ちする。機械にも心

や魂があるということが科学的に証明されたのです。

つまり、『モノには魂がある』という前提でお話を進めさせていただきますと、『お金にも魂がある！』ということとは当然なわけで、神戸のお金持ちの方のお話はズバリ的を得ています。お金さんに対して、「いい仲間を連れて帰ってくるんだよ。たくさん仲間を連れて帰ってくるんだよ」と、お金さんが反応してくれるってことなんです。

お金さんにも魂があるので、声をかけてあげると喜ぶんです。これは、日本の納税記録を持つ、斉藤一人さんも同様のことを言っています。

私は単純なので、この話を聞いて、よくお金に対して話しかけるようになりました。

「私の元へ来てくれてありがとう！今度使った時はたくさんのお金の仲間を連れてきてね！大歓迎するから！」というように話すと、よくお金と会話をしています。はたから見ると完全に怪しいですよ(笑)。でも、いいんです。

そして、レジでお金を支払う時も、「今まで私の元に来てくれてありがとう。また今度は、たくさんのお金を連れて戻ってきてね。」と、必ず心の中で唱えるようにしています。これは現金だけでなく、クレジットカードでの支払いでも同様に心の中で唱えるようにしています。

若者へ、

神の教え



人気仮面ユーチューバー【ラファエル】さんが【武井壮】さんとの対談。絶対聴いて欲しい【神回】といわれる動画。武井さんの成功哲学から紹介します。

兄貴が25くらいの時に癌で亡くなったことが、自分の人生の中で大きくて、こんなに簡単に人生って終わるんだって感じた瞬間だった。だったら、終わるまでに、今日できることはマジで全部やっつくっていうのをテーマにしないと…、いつか終わる時に後悔したくないじゃないですか。

来年病気になるってあと一年ですって言われた時に、ほらな！やっつきや良かったじゃん！ってのが一番嫌なこと全部やっています。

今日どこか、明日分もやりたいと思ってるし、出るだけやっつく！色々な人に会うのもそうだし、喋るも考えるも勉強するも、なるべく今日やりたいんで。だから部屋を広くして、全部部屋で出来る様にしてあるんですよ。

外へ行くと時間ロスだから、会いたいっつたら来てくれる、来てもスペースもある、トレーニングもウエイトもだいたい100kgくら

いまであるし、ピリヤード台もピアノもある、自転車の漕ぐトレーニング器具もある、ゴルフも練習できる様になっっている。本当に家で全部出来る！

とにかく10分でも20分でも、自分の為に使う時間を増やす為に、そうやってるんで、そしたら家賃なんて安いもんですよ！

毎日自分史上最高！

僕の場合は、そのためのトレーニングも、昨日よりちょっと強くなるためだし、技術も昨日よりちょっとうまくなるためだし、勉強も昨日よりちょっと知識が増えるためにやってるんで、必ず昨日より何かが増えている状態で、今日を生きているんで。

実はその日その時に活きないことが多いんですよ。学校の勉強も、会社で学ぶ仕事のやり方とか、最初はつまらないし。でもその日はつまんなくても、必ずそれがちょっとずつ積み重なって、誰かがあの人のアレあったら良いよなって思える所まで達すると、全部社

会が必要とされるモノになっっていくんで。若いうちってまだそれが積み重なってないから、こんなものいらねえやって思いがちだけど、今僕、小学校も中学校も高校も大学も、勉強したモノ全部、仕

事に活きているし、あの頃勉強すんの嫌で、学校行くために中高とか勉強してたけど、だけどそれが今もごく役に立ってるし、これまでやってきたスポーツも全部役立ってる、苦しい思いして手に入れたモノが、本当にその何百倍かになって返ってきてるんで毎日。

編集後記

今月号は転載部分が多く、申し訳ありません。実は、になりましたが、8月後半、二泊三日の入院、58歳にして右目の白内障の手術を受けました。読書や夜の運転が結構辛かったです。が、有難く最幸の状態に改善。何より、医療従事者の皆様の献身的な姿に感謝の気持ちで一杯です。

死の受け入れ＝夢を諦めることになって、夢を追いつけることは、その先の「誰かに託せる夢を持ち、向かい続ける」こと。今回の「夢ゾウ④」の教え有難く、「誰かの笑顔につながるちよつとイイ話」を未来へ恩送りできますように。